

【施設効果事例】

大沢川遊砂地(静岡県富士宮市上井出)

災害発生日：令和6年4月9日
降雨状況：富士山付近では前線を伴う低気圧により8日から9日にかけて大雨となった。
連続雨量 134mm(4月8日18時～9日12時)
時間最大雨量 23mm(4月9日8時～9時)
※御中道雨量観測所(国土交通省設置：大沢川上流)
発生箇所：静岡県富士宮市(大沢崩れ)
崩壊状況：土石流捕捉量 約120,000m³(速報値)
状況：富士山大沢川上流で土石流が発生しましたが、事前に除石して容量を確保した砂防施設(大沢川遊砂地工)が効果を発揮し、下流域への被害はありませんでした。

位置図



大滝水位観測所監視カメラ画像

